

教育目標

心豊かに たくましく 生きる子どもの育成

めざす子ども像

- 心を動かし、夢中にいきいきと遊ぶ子ども
- 考えたことや感じたことを、とことん探求する子ども
- 折り合いをつけ、人とつながることを楽しむ子ども

めざす幼稚園像

- 子どもが安心・安全に過ごせ、一人一人の輝ける居場所がある幼稚園
- 子ども・保護者・教職員が大切にされる幼稚園
- 園と家庭、地域が連携・協働し、共に育ち合い、存在意義がより高まる幼稚園

めざす教職員像

- 教育現場で働く自覚をもち、子どもの命を守りきる意識の高い教職員
- 心身ともに健やかで、日々学び合い、助け合う教職員
- 一人一人の子どもを大切に、専門性を高める教職員
- 保護者・地域から信頼され、子どもの成長を共に喜びあえる教職員

経営方針

- 教師との信頼関係を土台として、子どもが安心して自己発揮し、遊びや生活を通して、夢中になって遊び込む子どもを育む保育を推進する。
- 子どもの思いや教師の意図を明確にし、豊かな体験の中で、子どもが主体的に活動したり、人とつながったりする活動を通して、折り合う心と協働する力を育てる。
- 幼稚園が一人一人の輝ける居場所になるように、キンダーカウンセラーや専門機関と連携しながら、子どもや保護者の多様性を理解し、一人一人が自分らしさを発揮できるように支援する。
- 「架け橋プログラム」の視点から、幼児期の遊びを通しての学びの芽生えを小学校の学びにつながるように、学びのつながりを意識した保育を見直し、保育の質を高めるとともに、幼児教育の発信をする。
- 保・小・中との交流や、教員同士の研修を通して、子どもの育ちをつなぐ連携・相互理解を進める。
- 保護者の多様な働き方に応じ、預かり保育や相談体制を充実、預かり保育も含め、園全体で一貫した育ちの連続性を保障する。
- 教育相談「うさぎ組」や満3歳児「つぼみ組」の内容の充実を図り、地域の子育て支援センターとしての役割を果たす。
- 園全体で「子どもの育ちを軸にした保育」を考え、行事や活動を子どもの育ちを基準に精選し、対話と共有を重視した組織体制を構築する。
- 教職員のそれぞれの強みを活かし、役割分担と情報共有を明確化し、行事・業務の精選を進め、時間外勤務時間の削減と働きやすさを両立する。
- 学校運営協議会での関係者評価を活用し、教育活動の改善を図るとともに、地域の環境や人材を生かした取組を保育に取り入れ、豊かな経験ができるようにする。

具体的な取組

- 一人一人の人権が尊重された温かな学級経営
- PDCA サイクルを確立させた指導計画の作成
- 安心・安全な環境づくり
- 公開保育や研修会を通しての教員の資質向上
- 仕事内容の精選と効率化による働きがいと働きやすさの両立

家庭との連携

- PTA との連携
- 家庭教育講座
- 学校評価

学校運営協議会

- 園活動の参観
- 学校関係者評価
- 教育課程の基本方針の共有

地域との連携

- 地域行事、園行事での交流
- 地域の人材活用・学校評価

未就園児の子育て支援事業

- 教育相談事業「うさぎ組」
- 満3歳児つぼみ組・園庭開放

保小中との連携

- 保育園児や小中学生との交流
- 教員同士の研修会の実施
- チャレンジ体験